

T H E R M A L H Y D R A U L I C S

AESJ-THD NEWSLETTER NO.33 April 30, 2001

原子力学会熱流動部会長に就任して

角山 茂章（（株）東芝）



この度、班目前会長の後任として熱流動部会長に就任することとなりました。

班目先生に本部会の13年度の重点課題をお聞きしたところ、国際会議、特に日韓シンポジウム(NTHAS 3)を円滑に遂行することであるとお話を聞きました。原子力学会誌の4月号に元部会長の芹沢先生、内藤さんが共著で、日韓シンポジウム企画の経緯のお話を寄稿なされていますが、多数の先生方のご尽力で現在の姿になった状況が大変よく分かり、NTHASが本部会にとってとても大切な国際活動のひとつであることが理解できました。また昨年の10月にはNTHAS2が、内藤さんのご尽力で福岡で100名を超える多数の参加者を迎え盛会裏に終了しました。ただ武蔵工大大会での部会総会で会場からコメントを頂いたように、熱流動に関わる国際会議はICONE、NUTHOSとあり、相互の位置付けと時期を考えた企画が大切であると思います。更には福岡でのNTHAS運営委員会で秋山先生が述べた「熱流動の研究も節目に来ており、今後のテーマを議論するセッションを持つべきではないか」という趣旨のご発言も、当部会にとって大変意義深い指摘と考えています。幸いにも国際会議に

関わる活動について詳しい東工大二ノ方先生を副部会長にお迎えできたことは大変心強く思っている次第ですが、部会員の方々からも是非多数のご提言を頂ければ有難いと思います。

さて、熱流動の研究動向ですが、今後のニーズ面から見ますと、DOEのNERI、またMETIのNERIが参考になるかと考えます。高転換炉における狭隘部でのバーンアウト、超臨界圧炉、安全裕度の最適化(MIT他)、SBWR、FBR二次ループのタンク化等、熱水力に係るテーマが多々挙げられております。一方、シーズ面からはマクロからメソスケールへと発展してきた解析技術の実用化、JAVAなどのIT技術を用いたビジュアルでインタラクティブなシミュレーション、マイクロマシニング技術によるマイクロサイズのセンサ、アクチュエータによる流体の計測、制御など多方面の今後の発展が期待されています。そういった意味で、部会員の方々の活躍が大きく期待されることであると考えられます。

学会の運営面から見ますと、11~12年度私は庶務理事として学会の活動に参画してきましたが、部会の委員会に出て見ますと、理事会の頭を痛めていることが必ずしも皆さんに十分伝わっていないことに気がつき反省しております。社会の変革の中で、学会は経済面等で厳しい時代がありますが、学会の中立性から社会における学会の立場は益々重要な位置付けになって来ることと思います。その意味で、運営の方向性も変わっていくべきであり、またその方向性を学会員の方々一人一人にお伝えするチャンネルとして部会が大切な組織であろうかと考えています。一部会無料制の開始、14部会と数の増えた部会全体が持つべき技術分野の有り方など、部会を取り巻く環境も今後見直しが進められると思います。この点につきましても会員の方々のご意見を頂きたいと思えます。

以上で述べましたように、学会活動の活性化のために、部会活動が一つのテコとして活用される方向に行く中で、今は熱流動部会の活動の仕組みを見直して更に発展していく好機ではないかと考えます。既に本部会の企画委員会からは、テーマを限定して活発な議論を中心に進

めるフォーラムのような仕組みが良いのでは、というご提案を頂いておりますが、「走りながら考える」という気楽な気持ちで皆様のご提案を実行に移したいと思っておりますので、是非ご支援の程、宜しくお願い致します。

熱流動部会総会報告

熱流動部会第16回会員総会議事録

山口 彰 (JNC、国際)
平成14年度まで
阿部 豊 (筑波大、企画)
平成13年度まで
前川 勇 (川重、出版編集)
平成13年度まで
江口 譲 (電中研、広報副)
平成14年度広報委員長

- (1) 開催日時：平成13年3月29日 12:00-13:00
- (2) 開催場所：日本原子力学会 2001年春の大会
I会場(武蔵工業大学)
- (3) 配布資料：
 - 1) 熱流動部会平成13年役員候補
 - 2) 熱流動部会平成12年度中間収支報告
 - 3) 部会長期予算に関する報告
(ア)別添1：熱流動部会収支予算
(イ)別添2：熱流動部会特別予算
(平成13年度～平成17年度)
 - 4) 平成12年度活動報告
(ア)総務委員会活動報告
(イ)広報委員会活動報告
(ウ)研究委員会活動報告
(エ)企画委員会活動報告
(オ)出版委員会活動報告
(カ)「多次元二相流構成方程式に関する評価」
調査専門委員会活動概要
- (4) 議事

(4-1)部会長挨拶(班目部会長)

班目部会長より、内藤前部会長時代を含めた2年間を振り返った挨拶があった。この2年間は学会の大転換期であり、従来のサロン・情報交換の場から外部に向かって提言する場へと変わりつつある事、その中で熱流動部会が学会を牽引する機会が多かったことなどが述べられた。

(4-2)役員・実行委員

平成13年度役員候補者が下記のように提案され、承認された。また、各実行委員会委員については、委員長の判断より適宜追加選任することで了承された。

部会長 角山 茂章(東芝)
平成13年度まで
副部会長 二ノ方 寿(東工大)
平成14年度部会長
幹事 奈良林 直(東芝、総務)
平成14年度まで
田中 伸厚(茨城大、広報)
平成13年度まで
小泉 安郎(工学院大、研究)
平成14年度まで

(4-3)平成12年度決算報告

秋本総務委員長より、配布資料を用いて平成12年度中間収支が報告され、了承された。また、平成13年度収支予算案が説明され、承認された。

部会の長期予算について、前回の会員総会で了承された内容に従って11月に熱流動部会予算案を学会事務局に提出したこと、企画委員会で11月および1月に審議されて承認されたことが報告された。また、委員会報告書の出版事業については、審議の過程で学会予算により実施することになったため部会予算から削除したことが報告された。

成合原子力学会副会長により学会全体の動向が補足された。その中で、学会に部会検討委員会が設置され、部会活動のありかたについて見直す予定であることが説明された。

村瀬会員より、国際会議の開催情報をできるだけオープンにして会員の意見が反映できる仕組み作りを考えてほしい旨、要望が出された。班目部会長および二ノ方次期副部会長により開催スケジュール決定の経緯が説明され、了承された。併せて、国際会議の開催決定に会員の積極的参加は不可欠であり、積極的な参加・協力を大歓迎する旨の要請があった。

(4-4)平成12年度活動報告

(ア)総務委員会

秋本総務委員長より、配布資料を用いて、新会計制度への対応のために平成12年度は運営委員会を3回開催したこと、部会企画総合講演として、2000年秋の大会で「シビアアクシデント熱流動現象評価」、2001年春の年会で「原子炉熱流動の微視的シミュレーション」を開催したことなどが報告された。

(イ)広報委員会

田中広報副委員長により、配布資料を用いて、活動概要が報告された。平成12年度に4件のニュースレターを発行したこと、国際会議スケジュールを部会のホームページに公開したこと、今後ニュースレターの配布はE

メールでの通知とホームページへの掲載のみ（Eメールが届かない方については郵送を継続）とすることなどが報告された。また、Eメールアドレスの未登録者に対する登録が要請された。

（ウ）研究委員会

森研究委員長より、配布資料を用い、熱流動関係の研究委員会活動の実施現状が説明された。4件の特別専門・研究専門委員会のうち3件が平成12年度で終了すること、「二相流計測に関する評価」研究専門委員会が1年延長されたこと、熱流動部会の調査委員会として、「多次元二相流構成式に関する評価」調査委員会の第1回委員会を平成12年9月に開催したこと、「原子力プラントにおける火災や燃焼化学反応を伴う熱流動問題」研究専門委員会の設立が企画委員会で承認されたことなどが紹介された。

（エ）国際委員会

国際委員会では、国際会議カレンダーのニュースレターへの掲載等が進められたこと、二ノ方次期副部会長を中心として、今後開催される国際会議（NURETH、NUTHOS、NTHAS等）のスケジュール調整を進めたことなどが報告された。

（オ）企画委員会

阿部企画委員長より、配布資料を用い、活動概要が説明された。平成12年度は「格子ガス法および格子ボルツマン法による流体解析初心者向け講習会」と「並列計算機利用講習会（初級）」の2件の講習会を主催し、盛

況裏に開催されたことが報告された。

（カ）出版編集委員会活動報告

越塚出版編集副委員長より、配布資料を用い、活動の概要が報告された。その中で学会編集委員会で進められている「学会誌」「欧文誌」の改革の現状、学会誌に「解説：熱流動の微視的シミュレーション」が掲載されたことなどが報告された。また、熱流動分野の特集や特集号のテーマ、出版企画について、会員からの提案を募集していることが説明された。

（キ）「多次元二相流構成方程式に関する評価」調査委員会

大川委員会幹事より、委員会の活動状況が報告された。

1)平成12年9月に第1回委員会を開催したこと、2)委員会では多岐にわたる構成方程式を今後どうまとめ、どう展開していくかについて討議したこと、3)今後、重要と考えられる事象の選定とその中で必要となる構成式の整理を行うことなどが説明された。

（5）その他

秋本総務委員長より、熱流動部会への参加呼びかけに対する協力が要請された。

（6）平成13年度部会長挨拶

角山平成13年度部会長より挨拶があった。次期部会長として、班目部会長の改革路線を引き継ぎ、二ノ方副部会長とともに国際会議の準備を含め、熱流動部会の更なる発展を推進する旨の抱負が述べられた。併せて、部会会員各位への協力要請があった。

熱流動部会運営委員会

第17回運営委員会議事録

1. 日時：平成13年2月20日（火）
17:00～19:00

2. 場所：東京大学大学院工学系研究科
システム量子工学専攻 中会議室

3. 出席者：班目部会長（東大）、角山副部会長（東芝）、
上出委員（広報、核燃料サイクル）、田中委員
（広報副、茨城大）、前川委員（出版編集、川
重）、森委員（研究、東電）、秋本委員（総務、
原研）、奈良林委員（総務副、東芝）

欠席者：久木田委員（国際、名大）、
阿部委員（企画、筑波大）

4. 議事：

（1）平成13年度役員の選任

次期副部会長（平成14年度部会長）候補として二ノ方寿氏（東工大）が推薦され了承された。次期広報副委員長（平成14年度広報委員長）候補として電力中央研

究所の江口謙氏、次期国際委員長候補として日本原子力研究所の新谷文将氏、次期研究委員長候補として工学院大学の小泉安郎氏がそれぞれ推薦され了承された。各実行委員会委員長候補を運営委員会案として会員総会に諮ることになった。また、各実行委員会委員については、委員長の判断より適宜追加選任することで会員総会に諮ることになった。

追記：3月上旬に新谷文将氏より、個人的事情急変のため国際委員長を辞退したいとの申し入れがあった。運営委員会委員でメール等を用いて再検討した結果、国際委員長候補として核燃料サイクル開発機構の山口彰氏を推薦することになった。

（2）部会長期予算に関する報告

配布資料を用いて、前回の運営委員会（平成11年11月2日開催）以降の部会長期予算に関する経緯、企画委員会での討議内容等が秋本総務委員長により説明された。その中で、前回運営委員会作成した原案を（平成12年11月14日開催の）企画委員会で審議した際に、部会の特別予算で認める出版事業は無料配布のものに限るとの指摘があったことが報告された。この結果を受けて、当初計画に対して、特別予算原案に含まれていた出版

経費を削除したこと、微視的シミュレーション委員会報告書及び二相流計測委員会報告書の出版経費を学会の平成13年度予算に申請したことの2点を変更して再提出し、(平成13年1月開催の)企画委員会で承認されたことが報告された。

(3) 平成12年度決算報告

秋本総務委員長より配布資料に基づき平成12年度の収支結果が報告され、了承された。

(4) 各委員会の活動報告

● 総務委員会報告

秋本総務委員長より配布資料に基づき説明があった。平成12年度には、年3回運営委員会と総会を開催したこと、熱流動部会企画の総合講演として、秋の大会では「シビアアクシデント熱流動現象評価」について実施したこと、春の大会では「原子炉熱流動の微視的シミュレーション」を実施する予定であることが報告された。

● 広報委員会報告

上出広報委員長より配布資料に基づき説明があった。平成12年度は、ニュースレターを年4回発行したことが報告された。また、ニュースレターの配布方法について郵送希望調査を行った結果では希望者がなかったこと、部会員のe-mailアドレス調査を行った結果、アドレスの不明な方が14名となったことなどの現状が報告された。

部会費が13年度より1部会無料となることについて検討した結果、熱流動部会への参加勧誘を行うべきとの意見が出され、勧誘を実施することになった。また、新規に入会する方のe-mailアドレスを必ず登録して欲しいことが上出広報委員長より要望された。他部会でも同様な活動が行われることが予想されたため、学会事務局に秋本総務委員長が確認し、熱流動部会での要

望を企画委員会に連絡することになった。

● 企画委員会報告

阿部企画委員長の作成した配布資料に基づき秋本総務委員長より説明があった。平成12年11月に、「格子ガス法及び格子ボルツマン法による流体解析初心者向け講習会」を、原研計算科学技術推進センターの協力により「並列計算機利用講習会(初級)」を開催し、それぞれ約60名、13名の参加者があったことなどが報告された。

また、「格子ガス法及び格子ボルツマン法による流体解析初心者向け講習会」の決算結果が報告され、了承された。

● 出版編集委員会報告

前川出版編集委員長より活動状況が報告され、学会の編集委員会では査読の簡素化、学会誌編集の見直しなどの現状が説明された。

● 研究委員会報告

森研究委員長より配布資料に基づき説明があった。熱流動関係の特別専門・研究専門委員会の現状として「原子炉熱流動の微視的シミュレーション」、「シビアアクシデント熱流動現象評価」、及び「核熱水力安定性」の3委員会が2001年3月で終了すること、「二相流計測に関する評価」委員会は2002年3月まで活動を延長することになったことが報告された。また、2001年4月から「原子力プラントにおける火災や燃焼化学反応を伴う熱流動問題」研究専門委員会(主査:東工大二ノ方教授)を立ち上げる予定であることが説明された。熱流動部会調査委員会である「多次元二相流構成方程式に関する」調査委員会の第1回委員会が9月に開催されたことが報告された。

以上

委員会等報告

第21回「シビアアクシデント熱流動現象評価」 特別専門委員会議事録

開催日時:平成13年1月31日(水)
13:30~17:00
開催場所:原子力発電技術機構藤田観光虎ノ門ビル
5F 第1会議室

出席者:成合(筑波大)、神永(茨大)、長坂(原子力機構)、阿部(筑波大)、片岡(阪大)、杉山(北大)、福田(九大)、門出(佐賀大)、斉藤(明星大齋藤代理)、

汐崎(船研綾代理)、大野、小西(サイクル機構)、村松(原研)、加藤、渡部、荻野、榎、三浦(原子力機構)、立岩(東電宮田代理)、河合(原電)、幅(電発石黒代理)、横堀、濱崎、内藤(東芝)、湊、佐藤(日立)、山岸(三菱重工古川代理)、苧坂(原安協佐藤代理)、楠野(エネ総研)、以上29名

配付資料:

- 21-1 第20回「シビアアクシデント熱流動現象評価」特別専門委員会議事録(案)
- 21-2 格納容器性能目標
- 21-3 報告書記載内容について
- 21-4 2.1 格納容器の加圧及び加熱

- 21-5 2.2 水素燃焼
- 21-6 2.3 溶融炉心・コンクリート相互作用
- 21-7 2.5.3 民間自主基準に対する見解
- 21-8-1 2.8 格納容器バイパス
- 21-8-2 2.8.2 の内容案
- 21-9-1 2.9 原子炉压力容器内溶融物保持
- 21-9-2 2.9.2 実験および解析モデルの現状(1)落下溶融炉心の分散挙動
- 21-9-3 2.9.3 民間自主基準関連事項としての見解
- 21-9-4 2.9.2 実験および解析モデルの現状(5)球殻内の二相流伝熱に関する解析
- 21-10 3.2 ソースターム評価の現状

量的性能目標に翻訳している。定性的性能目標は「発電所敷地境界以遠で避難等が必要となる可能性が十分に小さいこと」などの定性的表現である。定量的目標では、まず「避難が必要となる線量」や「可能性が十分に小さいこと」について数値目標を定めている。次に、線量目標値を原子炉格納容器設計に関係付けるために、放射性物質に対する原子炉格納容器システム全体の保持能力を現す C R F (Containment Retention Factor) という D F (除去効率) に似た概念を導入している。定量的目標では、目標とする C R F を満足できない事象の発生頻度合計値が所定の値を超えないことが要求されている。

3. 本年度報告書内容の説明

以下の報告書執筆担当者から、配布資料に基づいて、本年度の報告書の内容について説明があった。

長坂(資料 21-4)、荻野(資料 21-5)、榊(資料 21-6)、加藤(資料 21-7)、荻野(資料 21-8-1)、村松(資料 21-8-2)、三浦(資料 21-9-1)、杉山(資料 21-9-2 と 21-9-3)、福田(資料 21-9-4)、渡部(資料 21-10)

4. その他

次回の会合は、2月16日(金)に開催予定。
原稿の締め切りは3月5日(月)で、長坂幹事に提出する。

議事：

1. 前回議事録の確認

前回議事録(資料 21-1)の確認を行い、了承された。

2. 格納容器設計における性能目標について

東芝内藤氏より、資料 21-2 に基づき、原安協「次世代型軽水炉の原子炉格納容器設計におけるシビアアクシデントの考慮に関するガイドライン」の格納容器設計における性能目標について説明がなされた。格納容器性能目標は、まず定性的性能目標を設定し、次にそれを定

国際会議カレンダー (H13.4.16 現在)

Call for Papers は、e-mail, Home Page で必要な情報を入手して下さい。

- なお、 1) 熱流動部会ホームページ (<http://www.doc.nacsis.ac.jp/aesj/division/thd/>) もご利用下さい。
2) Abstract 締め切り後のものは、日付を掲載しておりません。

2001 年

New	5/10-11	FSIP-1:1st Int. Sympo. on Free Surface Flow and Interfacial Transport Phenomena, Izu, Japan,
	5/20-25	CHT'01: Int. Symp. on Advances in Computational Heat Transfer, Palm Cove, Queensland, Australia, Contact: http://cht01.mech.unsw.edu.au/main.html
	5/20-25	10th Int. Conf. on Fluidization: Fluidization for Sustainable Development, Beijing, Contact: http://www.engfnd.org/engfnd/1aa.html
	5/21-23	Int. Parallel CFD 2001 Conf., Egmond aan Zee, The Netherlands, Contact: http://www.parcfd.org/2001conf/index.html
	5/27-6/1	ICMF 2001: 4th Int. Conf. on Multiphase Flow, New Orleans, Contact: http://alpha2.eng.lsu.edu/~icmf2001/
	5/28-31	ASV-6: 6th Asian Symp. on Visualization, Masan and Changwon, Korea, Contact: http://piv-ptv.kmaritime.ac.kr/ASV6/
	5/29-6/1	2001 ASME Fluids Engng. Div. Summer Mtg., New Orleans, Louisiana, Contact: http://www.asme.org/conf/fed01/cfp.htm
	6/3-6	4th Int. Topical Mtg. on Neutron Radiography, State College, Pennsylvania USA, Contact: http://www.me.psu.edu/itmnr-4/
New	6/4-6	CMEM 2001, 10th Int. Conf. on Computational Methods and Experimental Measurements, Alicante, Spain, Contact: http://www.wessex.ac.uk/conferences/2001/cmem01/

	6/10-12	35th National Heat Transfer Conf., Anaheim, California, Contact: http://www.asme.org/divisions/htd/2001NHTC/
	6/17-21	ANS Annual Mtg., Milwaukee, Contact: http://www.ans.org/meetings/
	6/17-20	ICECA' 2001: Int. Conf. on Energy Conversion and Application, Wuhan, China, Contact: http://www.hust.edu.cn/new/english/ICECA2001.htm
	6/19-21	TEMPMEKO 2001, 8th Int. Symp. on Temperature and Thermal Measurements in Industry and Science, Berlin, GERMANY, Contact: http://www.vdi.de/gma/tempmeko2001.htm
New	6/20-23	4th Int. Symp. on Cavitation, Pasadena, California, USA, Contact: http://www.engin.umich.edu/dept/meam/CAV2001/
	6/27-29	TSFP-2: 2nd Int. Symp. on Turbulence and Shear Flow Phenomena, Stockholm, Sweden, Contact: http://www.print.kth.se/tsfp/
New	7/22-26	2001 ASME Pressure Vessel and Piping Conf., Atlanta, Georgia USA, Contact: http://www.asme.org
	7/22-26	3rd Int. Symp. on Computational Tech. (CFD) for Fluid/Thermal/ Chemical Systems & Industrial Appl., Atlanta, Georgia, USA, Contact: http://www3.sympatico.ca/vkudr/pvp20.html
	7/29-8/2	36th Intersociety Energy Conversion Engng. Conf., Savannah, Georgia, Contact: http://www.asme.org/conf/iecec01/cfp.htm
	8/1-3	3rd Int. Symp. on Meas. Tech. for Multiphase Flows, Fukui, Japan, Contact: http://mech.fukui-u.ac.jp/~ismtmf/
New	8/12-17	16th Int. Conf. on Structural Mechanics in Reactor Technology (SMIRT16) /North Carolina State Univ. NC, USA
New	8/19-24	Int. Conf. on Computational Engineering & Sciences, Puerto Vallarta, Mexico, Contact: http://icces.org/cgi-bin/icces01/pages/index
New	9/9-13	Int. Conf. on Mathematical Methods to Nuclear Applications, Salt Lake City, Utah, USA, Contact: http://www.srv.net/~ians/MC2001/
	9/9-13	Global 2001 Int. Conf., Paris, France, Abstract: Dec. 1, 2000 (1000 words), Contact: http://www.sfen.fr/global2001/
	9/14-15	PIV Challenge 2001, Gottingen, Germany, Contact: http://www.pivchallenge.org/
	9/17-19	4th Int. Symp. on Particle Image Velocimetry PIV01, Goettingen, Germany, Contact: http://www.sm.go.dlr.de/piv01
	9/23-27	6th World Congress of Chemical Engng., Melbourne, Australia, Contact: http://www.meetingplanners.com.au/chemeng/
	9/24-28	ExHFT-5: 5th World Conf. on Experimental Heat Transfer, Fluid Mechs. and Thermodynamics, Thessaloniki, Greece, Contact: http://docenti.ing.unipi.it/exhft5/
New	9/26-28	1st Int. Conf. on Fluid Structure Interaction, Halkidiki, Greece, Abstract: ASAP, Contact: http://www.wessex.ac.uk/conferences/2001/fsi01/
New	10/4-5	1st Int. Symp. on Advanced Fluid Information, Sendai, Japan, Contact: http://www.ifs.tohoku.ac.jp/afi-2001/
	10/14-19	VIM-01: Int. Symp. on Visualization and Imaging in Transport Phenomena, Antalya, Turkey, Contact: http://ichmt.me.metu.edu.tr/upcoming-meetings/Vim-01/announce.html
	10/22-26	ICCHMT 2001, 2nd Int. Conf. on Computational Heat and Mass Transfer, Rio de Janeiro, BRAZIL, Contact: http://www.lttc.com.ufrj.br/ICHMT/
Rev.	11/11-15	ANS Winter Mtg., Reno, USA, Abstract: Jun. 26, 2001, Contact: http://www.ans.org/meetings/
	11/11-16	ASME Int. Mech. Engng. Congress and Expo., New York, New York, Abstract: Feb. 1, 2001, Contact: http://www.asme.org/conf/congress01/index.htm
	12/4-6	The 8th Int. Symposium on Flow Modeling and Turbulence Measurements (FMTM2001), Tokyo, Japan, Abstract: Jan. 31, 2001 (1000 words extended abstract), Contact: http://fmtm2001.dcc.co.jp/

2002 年

	1/3-5	16th National Heat and Mass Transfer Conf. and 5th ISHMT/ASME Heat and Mass Transfer Conf., CALCUTTA, India, Abstract: Dec. 15, 2000, Contact: http://education.vsnl.com/announcement_nhmtc/
	4/8-10	1st Int. Conf. on Heat Transfer, Fluid Mechanics & Thermodynamics, Skukuza Restcamp, Kruger National Park, South Africa, Contact: http://www.walthers.co.za/conference/hefat/
New	4/22-24	Advanced Computational Methods in Heat Transfer, Halkidiki, Greece, Abstract: ASAP, Contact: http://www.wessex.ac.uk/conferences/2002/ht02/index.html
	6/9-13	ANS Annual Mtg., Hollywood, USA, Contact: http://www.ans.org/meetings/
	6/26-28	Heat and Mass Transfer in Solid-Liquid Phase Change Processes - EUROTHERM Seminar 69, Bistra, Ljubljana, SLOVENIA, Contact: http://termserv.casaccia.enea.it/eurotherm/futureseminars.html
New	7/14-18	13th Int. Sympo. on Transport Phenomena(ISTP'13), Victoria, USA, Abstract: Nov. 1, 2001 (One-page abstract via e-mail), Contact: http://www.istp13.uvic.ca/
New	8/18-23	IHTC'12, 12th Int. Heat Transfer Conf., Abstract: May 30, 2001, Grenoble, France, Contact: http://www.ihtc12.ensma.fr/
	11/17-21	ANS Winter Mtg., Washington, DC, USA, Abstract: Jun. 26, 2001, Contact: http://www.ans.org/meetings/epr/wm2001/
	11/17-22	Int. Mech. Engng. Congress & Exposition, The Winter Annual Mtg. of ASME (WAM), New Orleans, LA, USA, Contact: http://www.asme.org/conf/

2003 年

	6/1-5	ANS Annual Mtg., San Diego, USA, Contact: http://www.ans.org/meetings/
	7/8-11	4th ASME/JSME Joint Fluids Engng. Conf. & FED Summer Mtg. and Exposition, Koloa, Kauai, Hawaii, USA
	11/9-13	ANS Winter Mtg., New Orleans, USA, Contact: http://www.ans.org/meetings/
	1/16-21	Int. Mech. Engng. Congress & Exposition, The Winter Annual Mtg. of ASME (WAM), Washington, DC, USA, Contact: http://www.asme.org/conf/de.htm

< 編集後記 >

今回から茨城大学の田中伸厚がニュースレターの作成を担当することになりました。よろしくお願ひいたします。熱流動部会では、時代の流れに沿って、今年度からニュースレターはネット配信とし、ペーパーレス化を実行いたします。JNCの上出さんを始めとする、前任の方々のご助力のおかげでスムーズな移行が可能となりました。ありがとうございました。

また、今まで東京大学の班目先生、岡本先生のご厚意で熱流動部会のホームページを東大のサーバー内に置かせて頂いておりましたが、今年度より原子力学会のサーバーに移行することにしました。先生方のいままでのご助力にも深く感謝いたします。新しい熱流動部会のアドレスは以下の通りです。

熱流動部会の新しいホームページ

<http://wwwsoc.nacsis.ac.jp/aesj/division/thd/>
ニュースレターのPDFファイルは、上記ホームページより入手可能です。

また、ニュースレター作成にあたって原稿の作成をお願いすることがあるかも知れませんが、その節はぜひよろしくお願ひいたします。

ニュースレターに関するご質問、ご意見がありましたら下記までe-mailを頂ければ幸いです。

田中： tanaka@mech.ibaraki.ac.jp